

2022 年第 19 回 NPO 法人スペシャルオリンピックス兵庫陸上競技会報告書

開催日 2022 年 10 月 30 日 (日)

会場 明石陸上競技場

時間 9 時～12 時

参加アスリート人数 58 名

協力ボランティア人数

明石市陸上競技協会 15 名

甲南大学男子陸上競技部 15 名

一般ボランティア 2 名

総評

コロナの流行に伴い 3 年ぶりの競技会の実施となりました。

まず、感染対策を考え、参加種目数を減らし 1 人 1 種目や蜜のなりやすいリレー競技の廃止。体調管理表については 2 週間の体調や体温を記入し、参加者やボランティアにもご協力をいただきました。招集は現地で行い ID カード等はゼッケンに名前種目を一緒に書き込むことで、招集役員との接触の回数を防ぐことにしました。また、招集から競技開始前にマスクを回収専用の袋に入れて破棄し、ゴール時に新しいマスクを渡す。アスリートが座った後のベンチはアルコールで消毒するなど手指消毒以外にも徹底しました。

本来なら、賞賛をたたえるメダルセレモニー（表彰式）も市域で行うようにし、応援も拍手での応援のご協力をお願いしました。

過去の競技会に比べ静かな競技会ではありましたが、ボランティアの皆さんにも感染予防だけでなく、競技役員として、何をすべきかを自分で考えて行動して欲しいとお願いをしました。

また、大会後すぐに NG 大会広島があるため、甲南大学の皆さんには模範リレーをしていただき、アスリートだけでなく、ファミリーの皆さんもバトンの渡し方や流れるような走りに多くの拍手で終えることができました。

参加人数の少なさや過去の実施方法を見直し、感染対策に徹しつつ、参加したアスリートの活躍や成長には 3 年という空白があったこともあり、感動と嬉しさで終えることができました。

競技会終了後、体調不良の連絡もなく、無事に終えることができ良かったと安堵しております。

明石市陸上競技協会の役員の方には NG 大会があることを伝えていたこともあり、競技会終了後にアドバイスをいただくことでその後の大会に活かせることができました。

来年度は 20 回記念競技会となり、人数も 100 名近くなると予想されます。競技場改修工事もあるため、明石市陸上競技協会と相談を行いつつ、安全に配慮した競技会運営を実施できるようにしたいと考えております。

実行委員長 田崎幾美